

科目名	地域と金融	備考	
単位数	2 単位	授業形態	講義

湯 浅 由 一

## 《金融の現場を知る講師陣から地域金融と金融全般について学ぶ》

## 1. 授業内容

人間で言えば金融は血液です。金融がうまく流れていなければ経済は衰退します。一口に金融機関といっても、大手の都市銀行から地方銀行、信用金庫、信用組合、農協、労働金庫などその業態は様々です。その中でもとりわけ地域金融に特化し、地域の経済と社会の活性化に貢献する信用金庫に焦点をあて、地域金融の現場を知る信用金庫職員から地域金融機関の使命と役割、業務内容などを直接学びます。

同時に地域金融機関としての飯能信用金庫の実務経験者から、私たちの生活と金融がどのような関わりを持っているのか等を実践的金融論から学ぶことができます。

毎回異なった部署で働いている講師の話を開けるので、金融機関で働くとはどういうことか具体的なイメージを持つことができます。

講義内容の主なものは以下のとおりです。まず総論として、地域金融機関の基本戦略であるリレーションシップバンキングとメガバンクの基本戦略であるトランザクションバンキングの違いを理解し、それが営業店でどのように展開されているかを学びます。

次に各論としての業務内容についての講義では、金融機関の主要な業務である預金、融資、為替の基礎知識や取扱商品、などについて生きた情報を学びます。また、融資申込みの手续や中小企業向け融資の着眼点、バブル崩壊以後の不良債権問題等についても取り上げつつ、金融機関の融資姿勢の変化やリスク管理について考察していきます。

中小企業の現状についての講義では、埼玉県内の中小企業の特徴を考察し、実例を踏まえた講義で理解を促進します。又、取引先の企業代表者社長様の講義も取り入れてあります。

最終講義の地域金融機関としての今後の信用金庫の講義においては、金融業界全体の現状、当金庫の現状と今後の課題について、飯能信用金庫の役員の方の講義となります。

## 2. 到達目標

全体の講義を通じて、現役職員による体験談を盛り込んだ内容で講義を行うことにより、実際の業務を踏まえた地域金融機関の使命と役割の理解を目標とします。加えて、社会人に触れることで、受講生の社会人基礎力を養成するきっかけとします。

## 3. 到達目標となる駿大社会人基礎力/養成する能力要素（スポーツ科学部）

駿大社会人基礎力の①読解力③情報収集力⑤情報処理能力④論理的・多面的思考力⑥理解力。

## 4. 卒業認定・学位授与方針との関連

この科目はディプロマポリシーの「学部教育全体を通じて駿大社会人基礎力を身につけること」に関連しています。主体性、プレゼンテーション能力、協調性を養うものです。

## 5. 関連科目

現代金融論

## 6. テキスト・参考書等

毎回、プリント（レジュメ）が配布されます。

## 7. 授業外における学習方法及び必要な時間

毎回講師が入れ替わるのでその日に配布された資料は次週までに精読（週当たり、4.5時間）し、疑問点はコーディネーターの先生に訊ねてください。また日頃より新聞、ニュース等を見ることで、社会の動きに興味を持ってください。

## 8. 成績評価方法

評価種別	割合 (%)	成績評価基準・その他備考
受講態度	70%	毎回、現役の金融機関で働く人の講義となります。具体的な理解を提案しています。(1)論理的・多面的思考力(2)問題発見能力(3)問題解決能力を評価します。
定期試験	30%	期末に実施する筆記試験によって評価します。各講義内容の理解度を筆記試験によって判定します。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーを配布・回収して回答します。

## 10. 実務経験のある教員による授業科目等

担当教員の実務経験：飯能信用金庫の職員によるオムニバス方式での講義

実践的な教育の取組：全15回のうち14回は現役の支店長、代理および中堅の職員さんが、信用金庫の役割、融資・営業・資産運用の実際の取引について解説をします。

## 11. 授業計画

第1回	講義オリエンテーション
第2回	地域金融機関（信用金庫）の使命と役割
第3回	地域金融機関の営業店経営について
第4回	地域金融機関の業務について（資金調達、預金業務）
第5回	地域金融機関の運用 I（融資業務 I 消費者ローン）
第6回	地域金融機関の運用 II（融資業務 II 事業所ローン）
第7回	地域金融機関の運用 III（有価証券）
第8回	中小企業の現状について I
第9回	中小企業の現状について II
第10回	企業の課題解決型営業と支援業務について
第11回	中小企業を取り巻く事業承継の現状と取組について
第12回	あなたに役立つ金融知識 I
第13回	あなたに役立つ金融知識 II
第14回	地域金融機関としての今後の飯能信用金庫について
第15回	まとめ